
Great detective

桜桃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Great detective

【NZコード】

N7614M

【作者名】

桜桃

【あらすじ】

組織壊滅後。

高校2年と、無事、復帰できた新一。だが、やり直せるのは別だという。蘭と同級生でいる手段はただ一つ、全教科80点以上・・・

この話は、名探偵コナン　自作小説にも掲載されています。

「工藤、お前が復帰したのは実にめでたい。だがな、無事、高校2年としてやりなおせるかどうかは別だ。」

「……は？」

「そこで、復帰祝いテストを出す。全教科80点以上だった場合、やり直し可能。以下だった場合、やり直しは不可能だな。」

「うそだろー？」

「[冗談だと思いつながら、校長に直接聞くんだな。」

「うそじやねえ。

俺は思った。

80点以上って、やつと退院して戻ってきたところの、

テストかよ……

しかも、今の今までやつてなかつた。

本氣でテスト対策しなきやな。

あれ？俺つて、テスト対策したことあつたっけ。

「テスト日は3日後。それまでに勉強しとけよ。」

担任は出て行つた。

くそー、人事だと思つて・・・

（工藤邸）

「・・・いち、新一！」

「ら、蘭！？」

「どうしたの？考え込んでたみたいだけど。」

「いや、別に。ただ、テストどうしようかな～つてさ。」

「あー、80点以上ひやうへ。」

「どうすりかな。」

「どうすりかなって……取れなかつたら、進級できないんでしょ？」

「まあな。」

「まあな。つて……」

「どうにかなるわーーー、夕飯できただんだから、やれと食おひーーー！」

「あ、うふ……」

(どうせつたら、新一は本気になつてくれるかな?)

蘭は思つて切つて囁つてだった……

蘭 「どうすれば、テスト対策してくれるんだろう・・・」

桜桃「大丈夫だの繰り返しだしね。」

蘭 「新一は私と進級できなくともなんとも思わないのかな・・・」

桜桃「そんなことないよーうん。私が保証する。」

蘭 「ありがとう。でも、全部それって、桜桃ちゃんの手にかかるつて るつて」とでしょう？」

桜桃「え、？で、でも、私の書く小説はみんな暴走しちゃうし・・・」

「

蘭 「じゃあ、新一が暴走しちゃったら、進級できなくなちゃうかもしねないの？」

桜桃「ち、ちが・・・つていない・・・」

(よし、これに決めた!)

「新一～！」

書齋にいる新一を呼ぶ。

「ん～。」

「ねえ、全教科80点でやつあつたでしょ？」

「ああ。」

「もし、90点以上取れたば、一日、なんでも言つ」と聞いてあげるよ。」

「まじ?」

「うん。ただし、取れなかつたら一生荷物もち。わかつた?」

「あ、ああ・・・」

しぶしぶ承知。

(いくら新一でも、全教科90点以上は無理よね。)

~~テスト当日~~

(無事、新一が進級できましたよ!)

* * * * *

「やつと終わった。」

「卅九たえはあつやうへ。」

「わあな。なんせ、昨日までテストやってないかつたし。」

「ええーー?」

「大丈夫だつづーの。心配な国語と音楽は勉強したし。」

「テストは国語と音楽じゃないのよーー?」

「わあいわゆるよ。」

蘭はあきれて言葉もでなかつた。

「し、進級できなかつたら、一度と顔はあわせないんだからねー。」

「ま、見てるよ。」

(新一の)だから、80点以上はとれていのだらうけど・・・
『もし、90点以上取れたら、一日、なんでもいつひと聞いてあげるよ。』

つて言つた私の言葉。

少しでもがんばつてほしかつたんだけどな・・・
なんでもいつひと聞いてあげるじゃ、だめだつたかな・・・)

次の日

「工藤。これだ。」

クラスのみんなが見守る中、新一はテストを返却された。

クラスメートはざきざき。

もちろん、蘭も。

新一は余裕のようだが・・・

「く、工藤！結果は？」

中道が一番に聞く。

「おひざじひつひーとおねえよ。」

「へ、進級はできるんだねー。」

「ああ、それはばつひつ。」

「おひざじーー、やつたーーと歓声。

「おひざじーー、見せらひーー。」

「あは、おこー。」

「あーー。後藤の点数は・・・

後藤は黙る。

「工藤、お前がにぐい。」

「どうしたのよ。後藤君、見せて。」

「お、おい園子ーお前が見ていいもんじやねえー。」

「失礼ねーいいじやない。えーと・・・」

園子はだんまり・・・

「新一君、私、貧血になりそつよ。」

「な、何点だつたの?」

「・・・クト・・・・」

「え?」

「パーカークト！全部満点！全教科100点ーー！」

「うそ・・・なんの冗談よ、園子。」

「つそだと思うんなら見なさいよーこれーー！」

結果表を蘭に突き出す園子。

田の前に繰り広げられる文字は

国語	数学	社会	理科	英語	音楽	技術	家庭
科	美術	保健体育					
100	100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100	100

「ほんとだ・・・」

「でしょ！？あやつ、ただの人間じゃないわよ。絶対！」

「ただの人間だよ。」

「つれお。だつて、国語と音楽しか勉強しなかつたんでしょ？」

「この瓶は一回せざるべ。

「ハニーバー」

「...」

「カンニングしたんじゃねえのー?」

口々に言ひ合ひ。

「ほーるーんな」とすつかよー。」

つと新一は言ひ、

「約束、忘れんじやねえぞ。」

ぼやつと言つたのだ。

まだまだ未来はこれから . . .

現実味がないですね・・・

全教科100点なで、この世に存在するんでしょうか・・・

し・か・も！勉強しないで・・・

では、おやすみなさいませ～

桜桃

話会（前書き）

雑談にならないので、
話し合ひにきな感じです・・・

桜桃 「全教科満点なんて無理無理。」

園子 「私、倒れそうになつたわよ。」

新一 「園子がそんなんで倒れるような奴かよ・・・」

園子 「聞こえてるわよ。」

蘭 「でも、私も絶句しちゃつた。」

桜桃 「だよね~、満点なんて狙おうと思えばできるけど、
勉強せずにってぜーつたに無理ー!」

蘭 「うとううん。」

新一 「国語と音楽はちゃんと勉強したって・・・」

桜・蘭 「国語と音楽だけでしょー!」

園子 「数学と理科はわかるけど、社会とか、家庭科とか、
よく満点になれたもんだわ。」

新一 「教科書は一通り見たし、大丈夫かなって感じだつたからな。」

「

園子 「むかつく・・・」

蘭 「どうしたら、そんなふつになれるか知りたいわ。」

新一 「俺はどうしたらテスト対策ができるか教えてほしよ。」

三人 「は?」

新一 「俺、今までテスト対策したことねえもん。」

園子 「ま、まって。新一君って、いつもテストで一番だったわよね?」

蘭 「うん。どんな対策してるんだろうって思って、聞いたら知らんって言つてしまつた」

新一 「だから、対策もなにも、してねえから、知らんって言つたんだよ。」

桜桃 「神様つて意地悪・・・」

園子 「本当に...なんでこいやつにこんないい思いさせたのよー。」

新一 「いい思つて・・・あ。」

三人 「?」

新一 「わつこや、蘭からまだ、約束守つてもうひつねえ。」

桜・園 「約束?」

新一 「作者がとぼけでどうすんだよ。」

桜桃 「だつてえ、知らなにもーん。 わざといひじへ」

蘭 「約束・・・ああ、朝晩晩ご飯作つてあげるつて言つたやつ？」

新一 「ちばーよー」

蘭 「じゃ、えーと肩吊もー。」

新一 「俺が頼むか！」

蘭 「えっとねえ、じゃーあ・・・」

園子 「長くなりそうね・・・」

桜桃 「同感・・・暴走しちゃつた・・・」

園子 「ちゃんと責任もつて管理しなさこよ。」

桜桃 「だつて、新一と蘭は暴走すると手におえなくなつちやうし、

とくに新一は・・ね?」

園子 「そうねえ。蘭のことは、一途だし。ある意味独占欲だつたりするわよね。

でも、それを蘭が知らないっていうのもおかしな話よね。」

桜桃 「ほんと・・まあ、徐々にがんばっていこう・・・・・

園子 「がんばんなさいよ?」

桜桃 「ありがと・・・・・

まだ、例の夫婦は話をやめなかつた。

新一と蘭の約束が果たされたのは、

無事、くるのだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7614m/>

Great detective

2011年10月7日03時45分発行